



PT9-0352

熱分解ユニット

(GD-81Dシリーズ専用)

PLU-80

取扱説明書

理研計器株式会社

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6

ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

目次

1	製品のアウトライン	
1-1.	はじめに	3
1-2.	危険・警告・注意・注記の定義	3
1-3.	CEマーキング仕様の確認方法	3
2	安全上、大切なお知らせ	
2-1.	危険事項	4
2-2.	警告事項	4
2-3.	注意事項	5
3	製品の構成	
3-1.	本体及び標準付属品	6
3-2.	外形図	7
3-3.	各部の名称と働き	7
3-4.	ブロックダイアグラム	9
4	使用方法	
4-1.	ご使用するにあたって	10
4-2.	取付場所に関する留意事項	10
4-3.	システム設計上の留意事項	10
4-4.	取付方法	11
4-5.	配線方法	12
4-6.	配管方法	14
5	操作方法	
5-1.	始動準備	16
5-2.	始動方法	16
5-3.	終了方法	17
6	保守点検	
6-1.	メンテナンスモード	18
6-2.	ガス校正方法	21
6-3.	その他調整・清掃方法	21
6-4.	各部品の交換方法	21
7	保管・移設及び廃棄について	
7-1.	保管又は長期使用しない場合の処置	22
7-2.	移設又は再度使用する場合の処置	22
7-3.	製品の廃棄	22
8	トラブルシューティング	23
9	製品仕様	
9-1.	仕様一覧	24
9-2.	付属品一覧	24

1. 製品のアウトライン

1-1. はじめに

この度は、ガス検知部 GD-81D シリーズ専用熱分解ユニット PLU-80（以下、「本器」）をお買い上げいただきありがとうございます。お買い求めの製品型番と本説明書の仕様を照合し、ご確認をお願いします。

本器は、十分に訓練された適切な方のみご使用ください。

本取扱説明書に記載された保守・点検については、十分に訓練された適切な方のみ行ってください。

本取扱説明書に記載されていない保守・点検については、弊社または弊社指定のサービス員にて行う必要がありますので、弊社までご用命ください。

本器はガス検知部 GD-81D シリーズ専用熱分解ユニットで、必ず親機である GD-81D シリーズと組合わせて使用します。

本取扱説明書はガス検知部に本器(PLU-80)を組合わせた状態において、取扱方法を説明したもので、基本的な取扱い方法については親機である GD-81D シリーズの取扱いに従います。本書では GD-81D シリーズの取扱説明書 (PT2-343) を補完する形で記載しております。

本器を正しくご使用いただくために、本書と併せて GD-81D シリーズ取扱説明書の両方をよくお読みいただき内容を理解した上でご使用願います。

また、この取扱説明書は本器をご使用中いつでもご覧いただけるよう、お手元に保管してください。

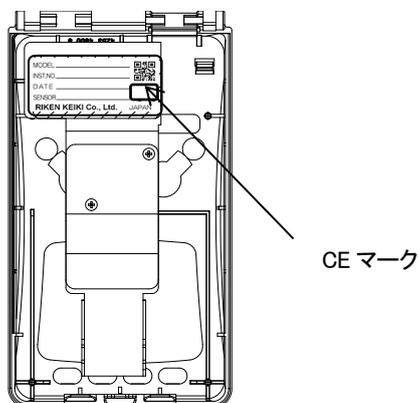
1-2. 危険・警告・注意・注記の定義

▲ 危険	この表示は取扱いを誤った場合、「人命、人体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
▲ 警告	この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
▲ 注意	この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に軽微な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。
* 注記	この表示は取り扱い上のアドバイスを意味します。

1-3. CEマークの確認方法

本器は、規格や防爆検定の種類によって仕様が異なります。ご使用になる前に、お手元にある製品の仕様を確認してください。

製品の仕様は、製品に下図の通り貼付された銘板よりご確認いただけます。



CEマーク貼付箇所(フロントカバー裏面)

2. 安全上、大切なお知らせ

2-1. 危険事項

危険

本器は、非防爆構造の機器です。爆発下限界以上のガスを検知する事は、絶対に行わないでください。

2-2. 警告事項

警告

電源

電源投入時には、所定の電圧であることを必ず確認した上で、本器の電源を入れてください。また、不安定な電源は誤動作にも繋がりますので、使用しないでください。

保護接地の必要性

本器の内部または外部の保護接地線を切断したり、保護接地端子の結線を外さないでください。

配管

本器及び親機であるガス検知部は大気圧状態の雰囲気ガスを吸引するように作られています。サンプリング配管口 (GAS IN, GAS OUT) に過大な圧力を掛けると、内部から検知ガスが漏洩する可能性があります。過大な圧力が掛からないようにして使用してください。検知後の排気ガスはガス検知部下面にある検知ガス排出口 (GAS OUT) に排気用チューブを接続し、安全と判断できる場所に排出してください。

ガス中での作動

可燃性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では、本器を作動させないでください。そのような環境下で本器を作動することは大変危険です。

熱分解ヒータ部(パイロライザー)

熱分解ヒータ部は高温となります。熱分解ヒータ部に触ると火傷をする恐れがありますので触らないでください。また、電源 OFF 直後も熱分解ヒータ部は高温ですので触らないでください。

2-3. 注意事項

▲注意

本器の近くでは、トランシーバーを使用しないでください。

本器の近くやケーブルの近くでトランシーバー等による電波を放射すると、指示に影響する場合があります。トランシーバー等を使用する場合には、影響のないところでご使用ください。

電源の再投入は、5秒以上の間隔をあけてください。

5秒以内に電源を投入すると正常な動作をしない場合があります。

ダストフィルタを取り付けてご使用ください。

本器を使用する場合は、ガスによる吸着の恐れや雰囲気中のダストによる影響を避けるために、指定のフィルタを付けてご使用ください。

ダストフィルタは検知するガスによって異なりますので、詳細は弊社営業部迄お問い合わせください。

配管中に結露が発生しないよう使用範囲を守ってください。

配管中に結露が発生すると、詰まったり、ガスが吸着したりするなど正確なガス検知を行えなくなるので、結露することは厳禁です。本器の設置環境と併せて、サンプリング先の温度・湿度には十分注意し、配管中に結露などが発生しないようにしてください。特に強酸性ガスなど、水分に溶解して腐食性が増すガスを検知する場合はガス検知が出来なくなるだけでなく、内部部品が腐食される恐れがあるので、必ず使用範囲を守るようお願いいたします。

本器を分解・改造したり、むやみに設定変更をしないでください。

本器を分解・改造したりすると、性能が保証できなくなりますので絶対に止めてください。また内容を把握しないでむやみに設定を変更すると、場合により警報が正常に動作しなくなることがあります。本取扱説明書に基づき、正しくご使用頂くようお願いいたします。

定期的な点検を必ず行ってください。

本器は保安計器につき、安全確保のために定期的な点検を必ず行ってください。点検を行わずに使用を続けると、センサの感度が変化し、正確なガス検知を行えません。

3. 製品の構成

3-1. 本体及び標準付属品

<熱分解ユニット(PLU-80)>



<標準付属品>

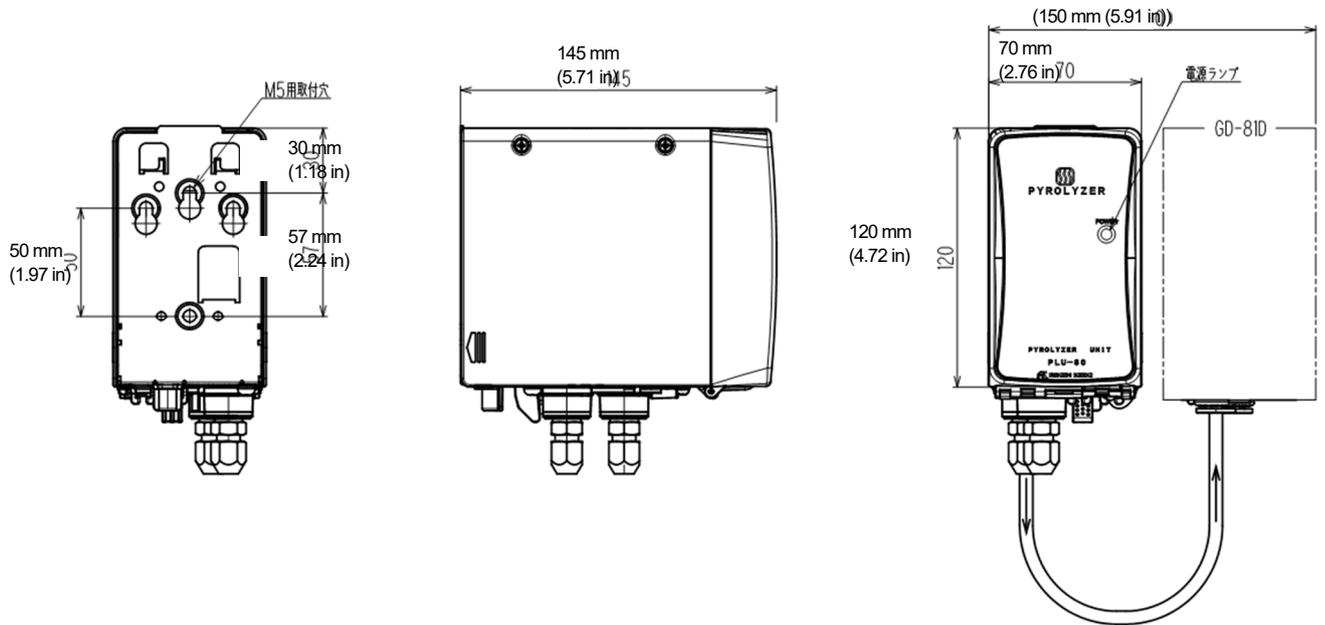
- ・ 取扱説明書
- ・ 保護用ゴムキャップ(ご使用時外します)
- ・ 専用操作レバー(配線時に使用します)
- ・ 専用U字チューブ

<ガス検知部(GD-81D シリーズ)【親機：別売品】>



※本器はガス検知部「GD-81D シリーズ」専用の熱分解ユニットです。ご使用いただく上では必ず親機であるGD-81D シリーズと組合わせてご使用ください。

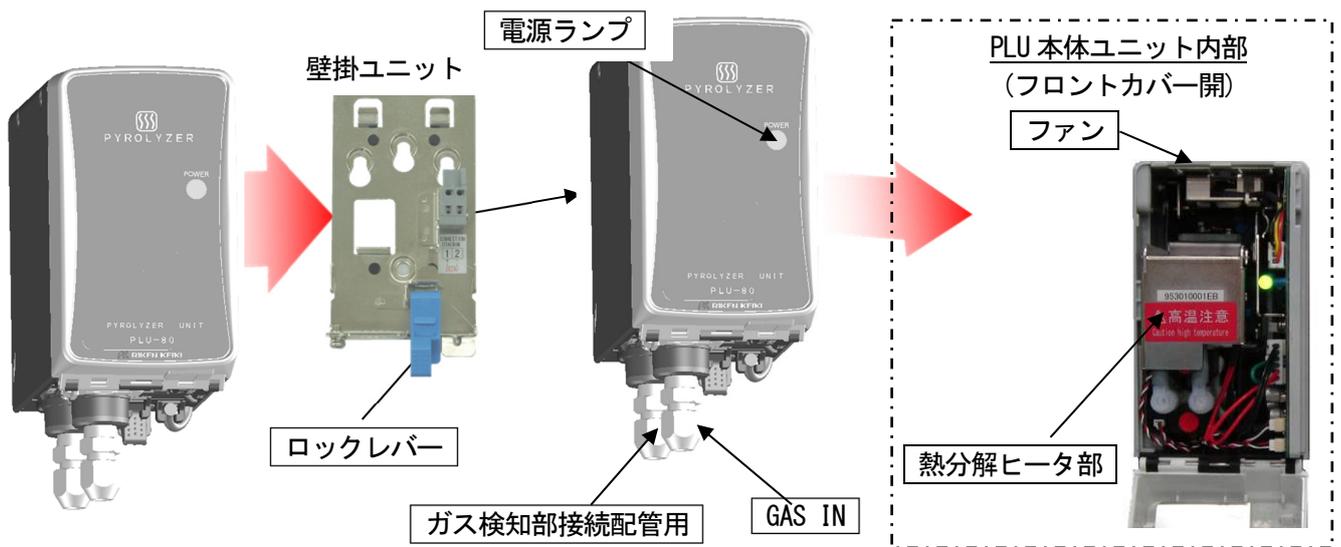
3-2. 外形図



3-3. 各部の名称と働き

本器の構成は以下ようになります。

PLU本体ユニット



▲ 注意

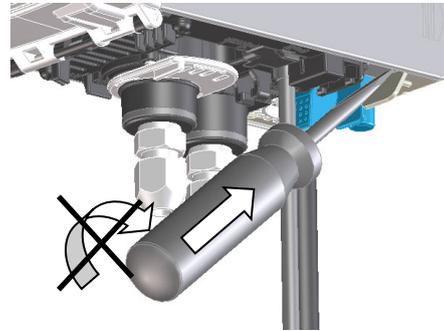
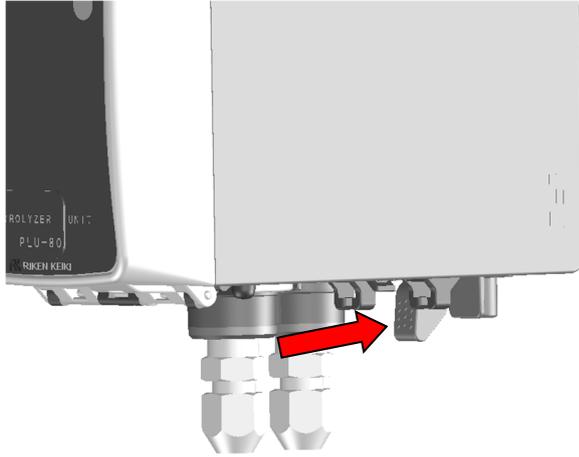
各ユニットはそれぞれ精密部品から構成されております。各ユニットを取り外す際、落とさないよう注意してください。本来の性能が発揮できなくなる恐れや、故障の原因となります。

<PLU 本体ユニットの脱着・装着>

PLU 本体ユニットの脱着

水色のレバーを壁掛ユニット側に押した状態で PLU 本体ユニットを上を持ち上げます。

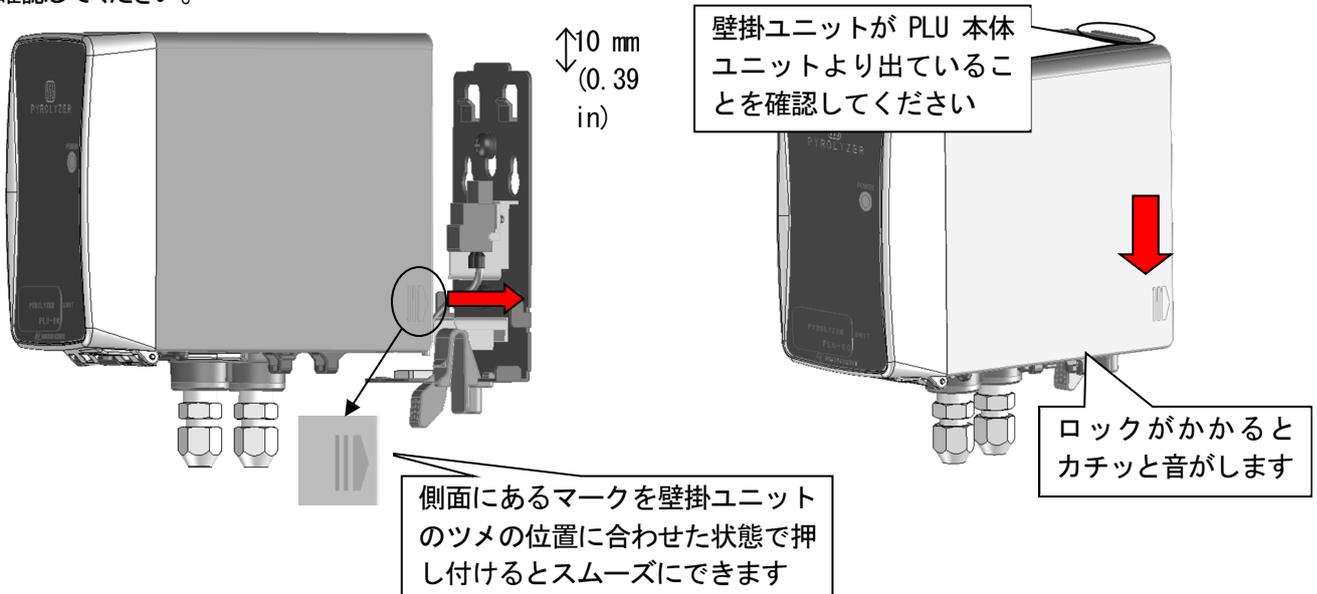
この際、PLU 本体ユニットが持ち上がらない場合は、レバーを押しながら大きめのマイナスドライバーで下図のように差し込むと簡単に取り外すことができます。マイナスドライバーは壁掛ユニットに押し込むだけで回転や上下には動かさないようにしてください。



PLU 本体ユニットの装着

壁掛ユニットより 10 mm 上の位置から PLU 本体ユニットを壁掛ユニットに押し付けます。この際、壁掛ユニット両サイドのツメが PLU 本体ユニットの溝には収まるようにしてください。

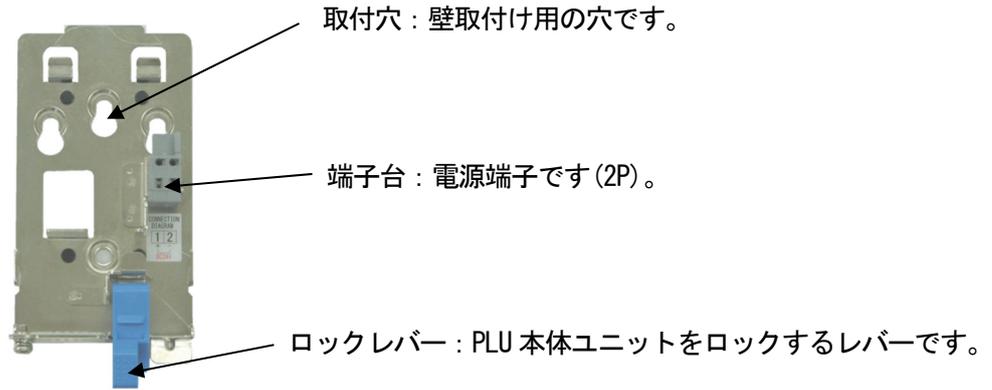
次に PLU 本体ユニットを下に押し付けて固定します。正しく固定されると PLU 本体ユニットの下部にあるロックがかかりカチッと音がします。また正面から見て壁掛ユニットの上部中央部が PLU 本体ユニットよりはみ出ていることを確認してください。



▲ 注意

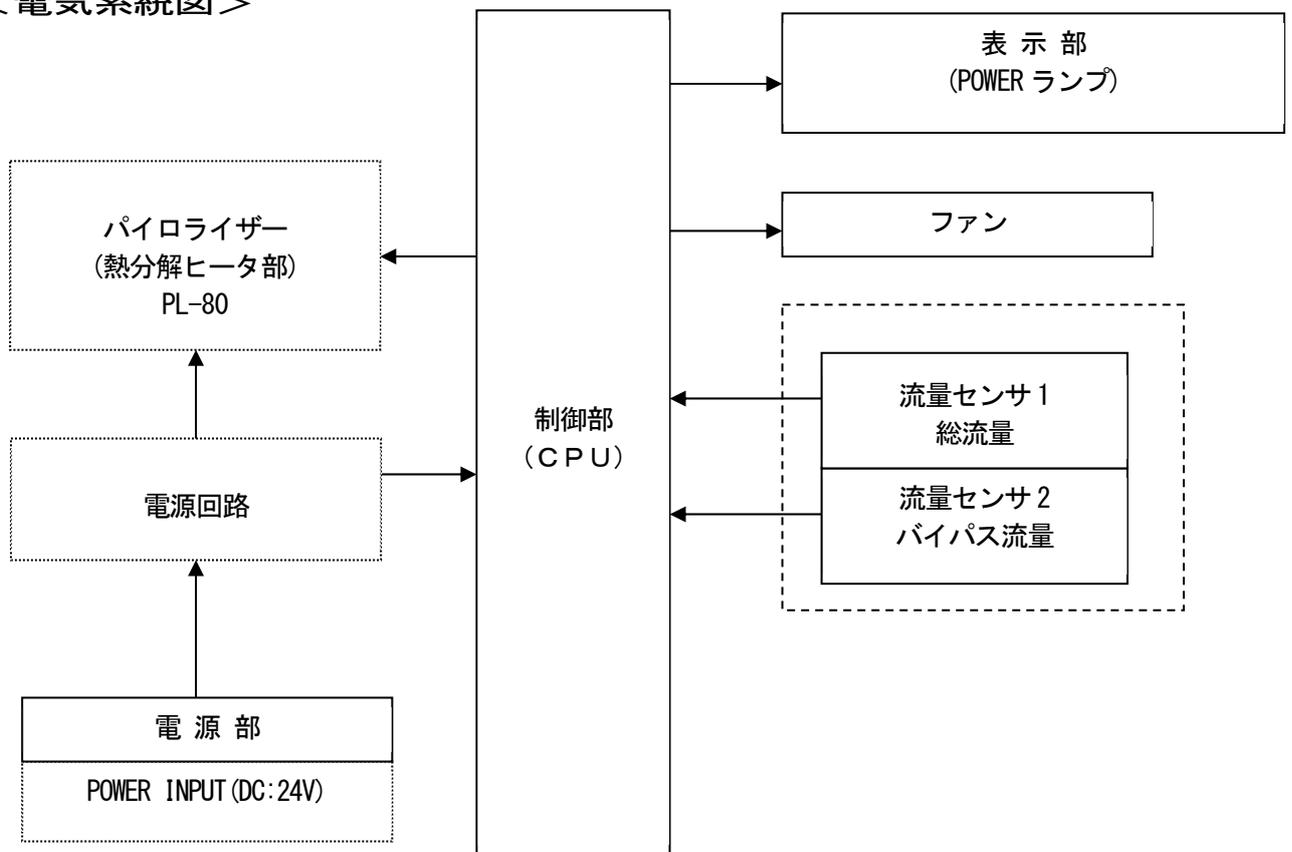
- PLU 本体ユニットを外す際、落とさないよう注意してください。また、壁掛ユニットに取り付ける際、確実に取り付いていることを確認してください。確実に取り付いていないと PLU 本体ユニットが落下して思わぬ怪我をする場合や機器が破損する場合があります。
- PLU 本体ユニットの脱着及び装着は電源 OFF の状態で行ってください。

<壁掛ユニット>

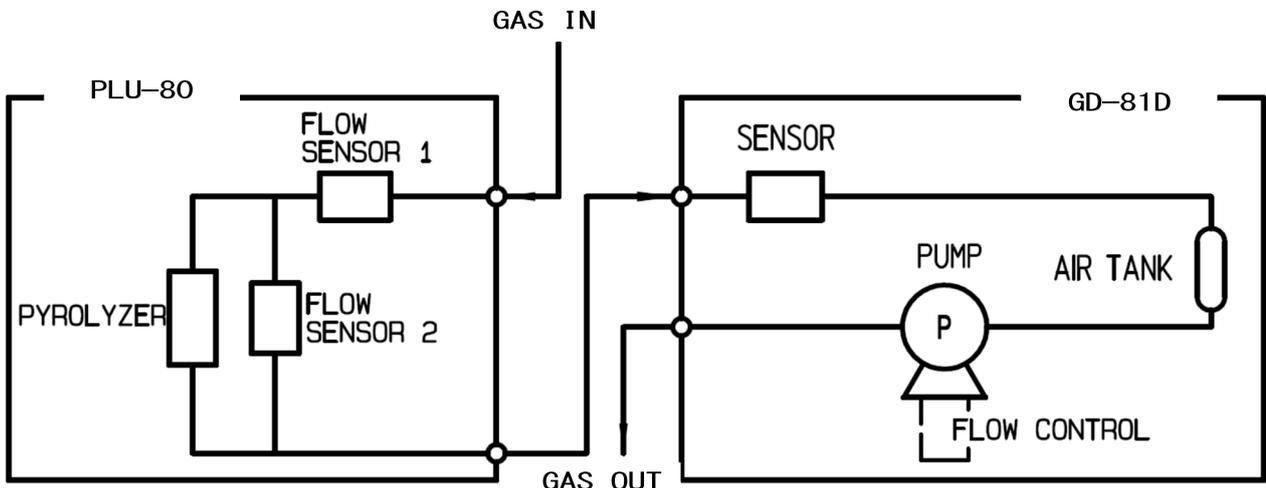


3-4. ブロックダイアグラム

<電気系統図>



<配管系統図>



4. 使用方法

4-1. ご使用するにあたって

本器を初めてご使用になる方も、すでにご使用になられた方も使用方法の注意事項を必ず守ってください。これらの注意事項を守らない場合には、機器の故障が生じ、正常なガス検知が行えない場合があります。

注意

本器を納品後は速やかにご使用を開始するようお願いします。

4-2. 取付場所に関する留意事項

注意

本器は親機であるガス検知部(GD-81D シリーズ)の直近に取り付けられます。本器はガス検知部と同じく精密機器であり、取付場所に関する留意事項についてはガス検知部に従います。【GD-81D シリーズ取扱説明書参照】

4-3. システム設計上の留意事項

注意

不安定な電源、ノイズは誤動作、誤警報の原因になります。本器を使用するシステムでは、親機であるガス検知部(GD-81D シリーズ)の取扱説明書及び本項の記載内容を反映した設計をしてください。

安定した電源を使用する

本器には次の内容の電源を供給してください。

電源電圧	DC24V±10%(本体端子電圧)
瞬時停電許容時間	約10msec (10msec以上の停電は再スタートとなります) 連続動作や動作の保証をする為には外部に無停電電源装置等を設置してください。
その他	大電力負荷や高周波ノイズを含んだ電源と共用しないでください。 必要に応じて、ラインフィルタ等を使用してノイズ源と切り離してご使用ください。

放熱を考慮した設計をする

- ・ 上下に設置するときは、換気穴を塞がないようにしてご使用ください。また、1セット毎の取付ピッチは10 mm (0.39 in) 以上空けて頂く事を推奨します。最低でも5 mm (0.20 in) 以上は空けてください。
- ・ クローズされた計装盤等に取り付けるときは盤の上下に換気ファンを取り付けてください。

注意

本器の内部温度が約60℃(140°F)に達すると、トラブル警報(ガス検知部側)を発生し、熱分解ヒータ部を停止します。内部温度は周囲温度に対して十数℃(数十°F)程高温になりますので、周囲温度が40℃(104°F)を超えないようご注意ください。内部温度の上昇を防ぐためにも、本器上部は30 mm (1.18 in) 以上のスペースを設けてください。

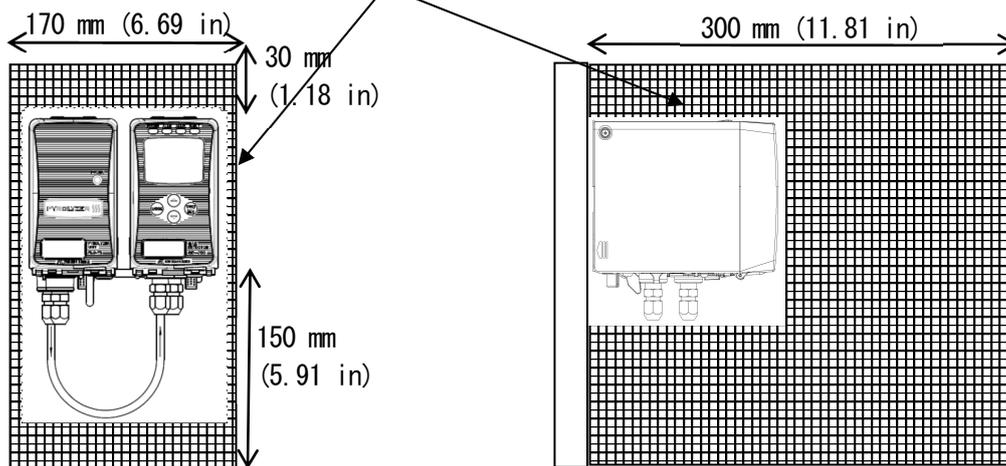
4-4. 取付方法

⚠ 注意

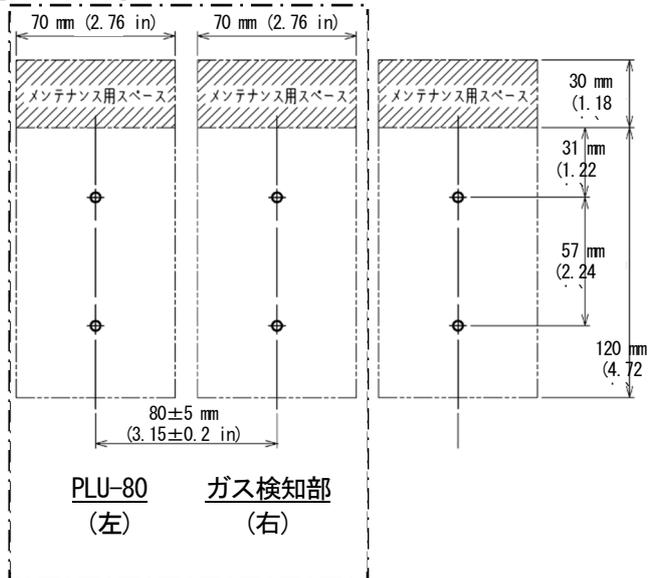
- ・ 本器は親機であるガス検知部(GD-81D シリーズ)の直近に取り付けられます。本項及びガス検知部(GD-81D シリーズ)の取扱説明書を参照し、取り付けを行ってください。
- ・ 本器を取り付ける際、まず GAS IN, GAS OUT に付いている保護用のゴムキャップを外してください。ゴムキャップを付けたまま取り付けると電源を ON にすると、ポンプ、センサに負担が掛かり破損する恐れがありますので、必ず取り外してください。

<取付寸法及びメンテナンススペース>

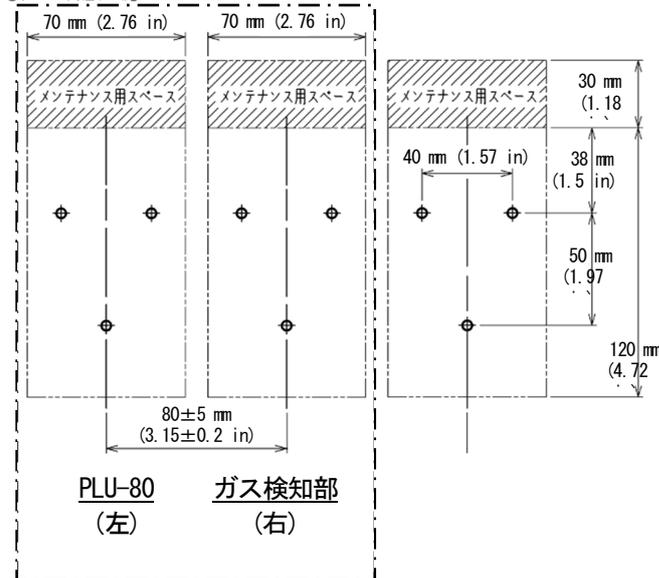
斜線部は取り付けスペースとして確保し取り付けてください。



2本のねじで設置する場合



3本のねじで設置する場合



(単位: mm)

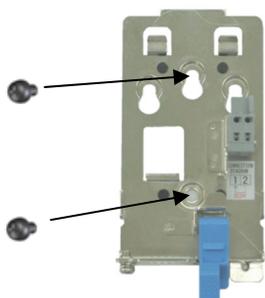
⚠ 注意

- ・ 本器(PLU-80)とガス検知部(GD-81D シリーズ)の取付ピッチは 80 ± 5 mm (3.15 ± 0.2 in) としてください(隙間: 5~15 mm (0.2~0.59 in))。1セット毎の取付ピッチは 10 mm (0.39 in) 以上空けて頂く事を推奨します。最低でも 5 mm (0.2 in) 以上は空けてください。
- ・ PLU-80 はガス検知部(GD-81D シリーズ)の左側に設置してください。



<壁掛ユニットの取付>

M5 のねじで 2 本または 3 本で壁掛ユニットを設置面に固定します。



推奨取り付け用ねじ
長さ 8 mm (0.31 in) 以上
平ワッシャは O.D. 10 mm (0.39 in) 以下 (小丸)

壁掛ユニットを壁面に取り付けた後、PLU 本体ユニットを壁掛ユニットに取り付けてください。

⚠ 注意

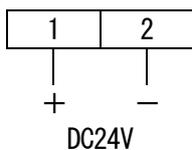
壁掛ユニットと設置する面に隙間ができないよう取り付けてください。隙間が開いていると不必要な振動や騒音の原因となります。

4-5. 配線方法

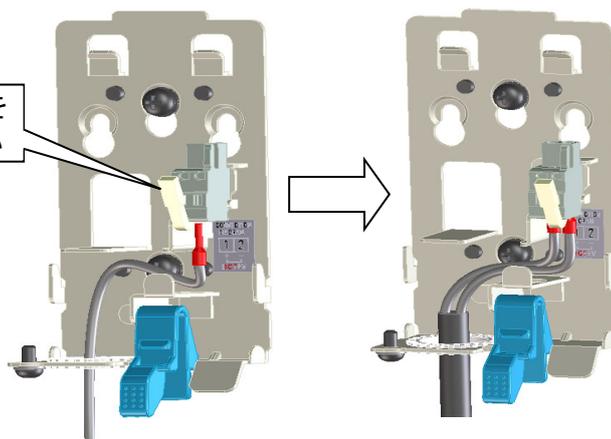
⚠ 注意

- ・ 本器の壁掛ユニットはガス検知部 (GD-81D シリーズ) の壁掛ユニットと端子数が異なりますので間違えないよう注意してください。(PLU-80 : 2P, ガス検知部 : 10P)
- ・ 配線方法については、ガス検知部の場合と同様になります。<端子台の仕様>, <端子台への接続方法>, <ケーブルのクランプ方法>, <接地工事>についてはガス検知部 (GD-81D シリーズ) の取扱説明書を参照し、配線を行ってください。

<端子台図>

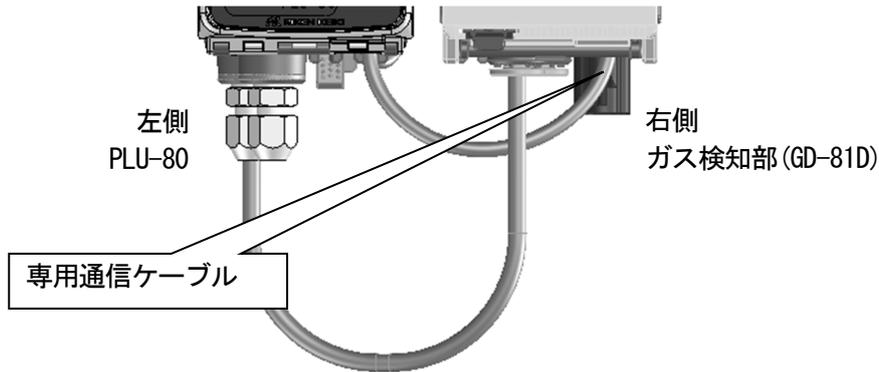


専用操作レバーを使用してください

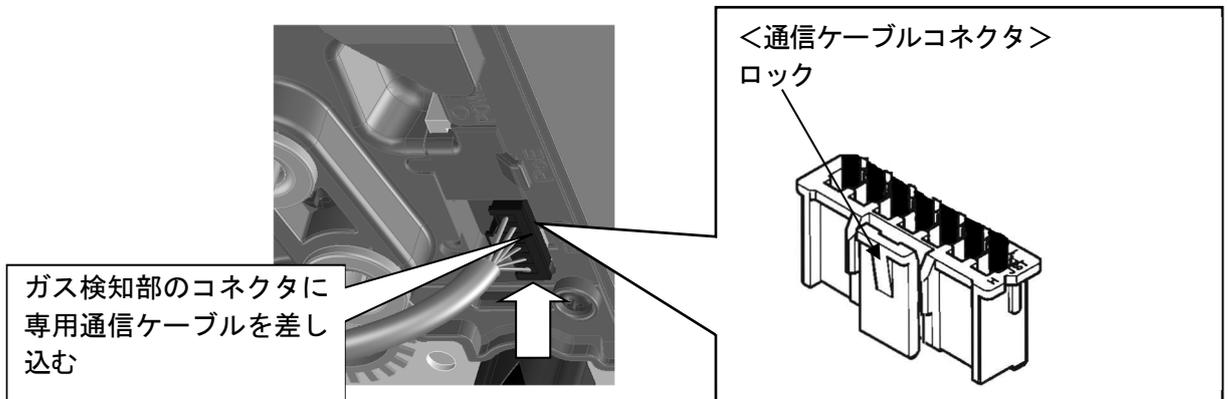


<ガス検知部との接続>

PLU-80 とガス検知部は、PLU-80 から伸びている専用通信ケーブルにて接続されます。



- ・ 正面から左側に PLU-80、右側にガス検知部の配置としてください。
- ・ 予めガス検知部側の PLU 通信コネクタを使用できるようにしてください。
- ・ 専用の通信ケーブルコネクタは、ロック式となっています。取り付け時はしっかりロックが掛かったことを確認し、また外すときはロックを解除して外してください。



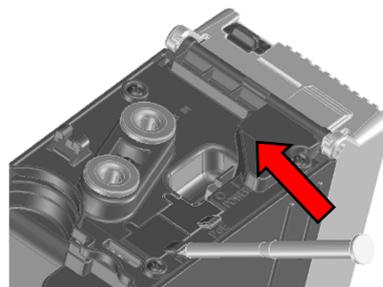
▲ 注意

- ・ 通信ケーブルは引っかけないでください。
- ・ 通信ケーブルコネクタはロック機構付きです。脱着の際はロックを解除して外してください。ロックが掛かったまま引き抜くと断線等故障の原因となります。

* 注記

<ガス検知部 (GD-81D シリーズ) 側 PLU 通信コネクタの使用>

- ・ 通信コネクタ用カバーのツメが出ている隙間に小型のマイナスドライバーをはめ込み、矢印の方向に起こして外します。この際マイナスドライバーを内部に押し込んでコネクタピンを損傷しないように注意してください。
- ・ 通信コネクタ用カバーは PLU 専用通信ケーブル用と、LAN ケーブル用が一体となっていますが、簡単に割ることができますので必要に応じて使い分けてください。コネクタを接続しない場合はカバーを取り付けてください。
- ・ カバーを取り付ける際は先にツメ側を本体にはめ込みカバーを押し込んでください。



4-6. 配管方法

▲ 注意

本器の配管は、ガス検知部(GD-81D シリーズ)と組合わせて行い、ガス検知部の前段に本器を設けるように配管を行います。

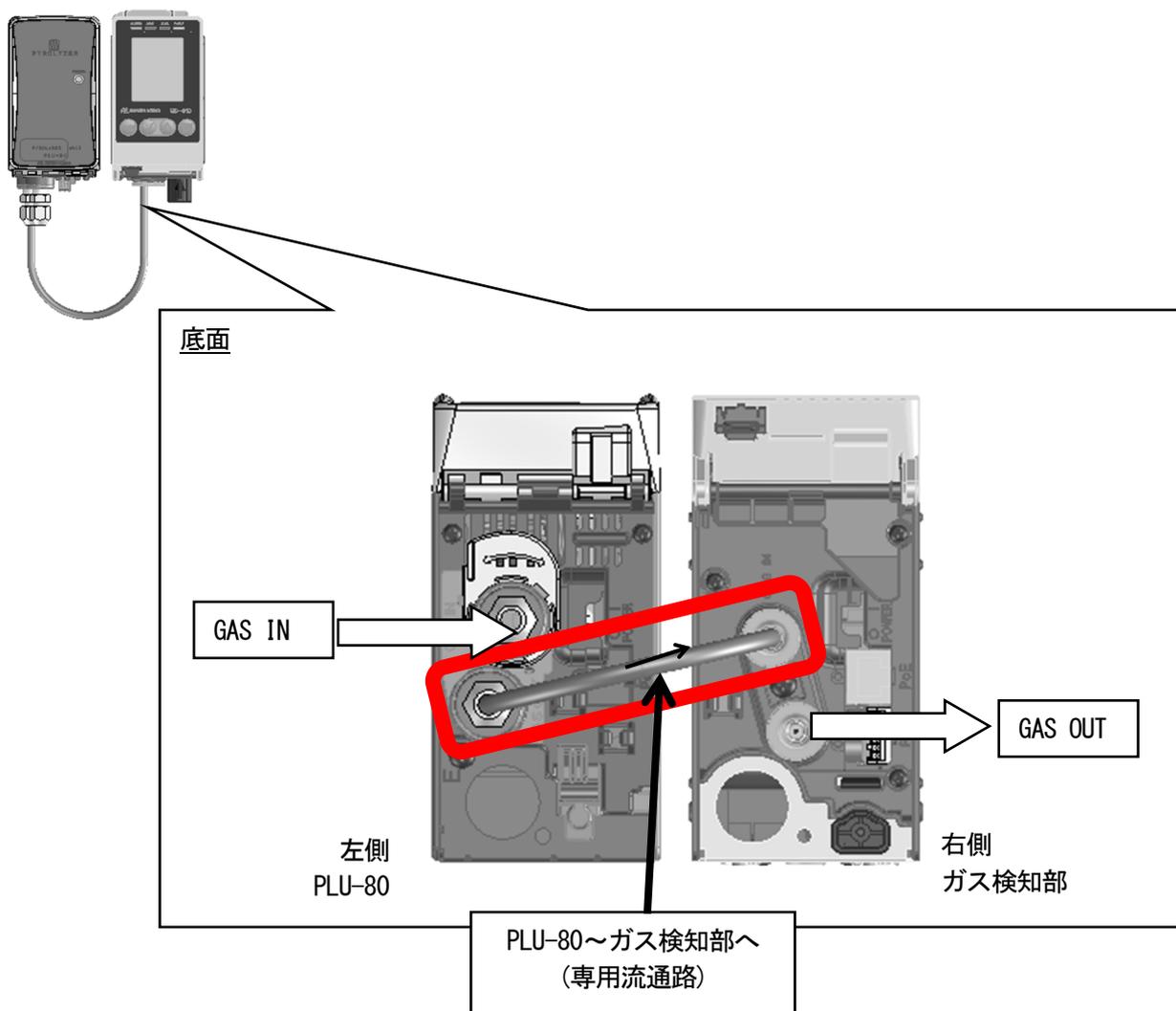
本器には、ガス検知部と同じようにサンプリング配管口(GAS IN, GAS OUT)に Rc1/4 のネジが切れており、標準品は「ポリプロピレン」のユニオンが取り付けられています。配管方法は基本的に同様になります。【GD-81D シリーズ取扱説明書参照】

<ガス検知部との接続>

ガス検知部(GD-81D シリーズ)と本器(PLU-80)を組合わせて使用する場合は、

GAS IN → PLU-80 → ガス検知部(GD-81D シリーズ) → GAS OUT

という流れになるように配管する必要があります。PLU-80～ガス検知部間は、付属の専用 U 字チューブにて配管接続願います。(PLU-80 の OUT 側と、ガス検知部の IN 側)



注意

- ・ 配管接続を間違えると正常なガス検知動作が出来ません。配管接続に間違いが無いか注意願います。専用U字チューブを誤って接続した場合(ガス検知部 → PLU-80)であってもエラーメッセージは 特に表示されません。
- ・ PLU-80～ガス検知部間は、必ず付属の専用U字チューブで接続してください。指定以外の部品で代用された場合は性能の保証は致しかねます。

5. 操作方法

5-1. 始動準備

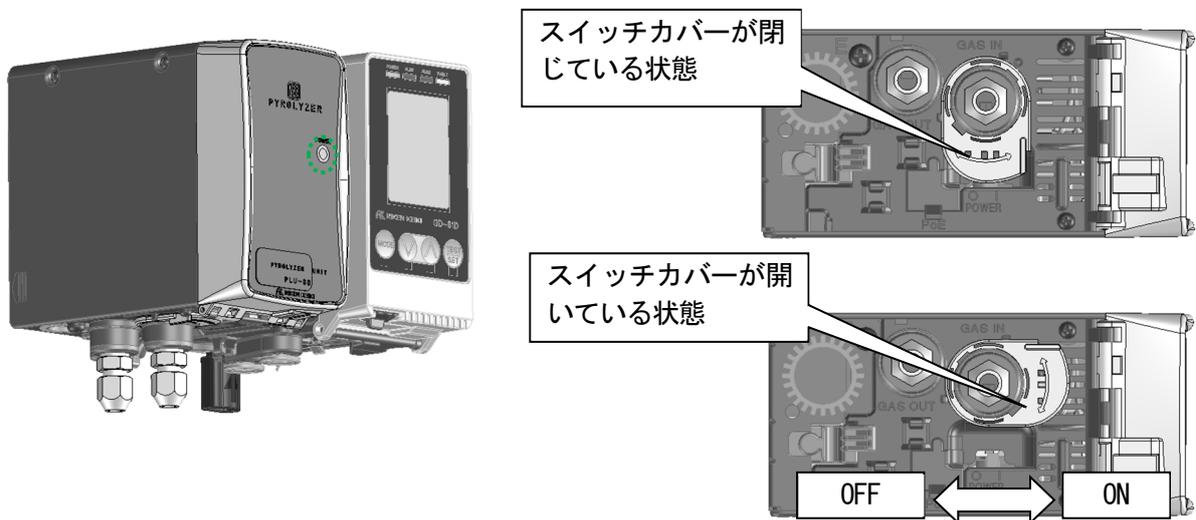
電源を接続する前に、次の注意事項をお守りください。これらを守らないと、感電の危険や機器を損傷する恐れがあります。

- ・親機であるガス検知部 (GD-81D シリーズ) との接続 (専用ケーブル, 専用チューブ) が正しくされていることを確認してください。
- ・接地をしてください。
- ・外部との配線 (電源配線) が正しく行われていることを確認してください。
- ・供給電源電圧が定格内であることを確認してください。
- ・ダストフィルタが正しく取り付けられているか確認してください。

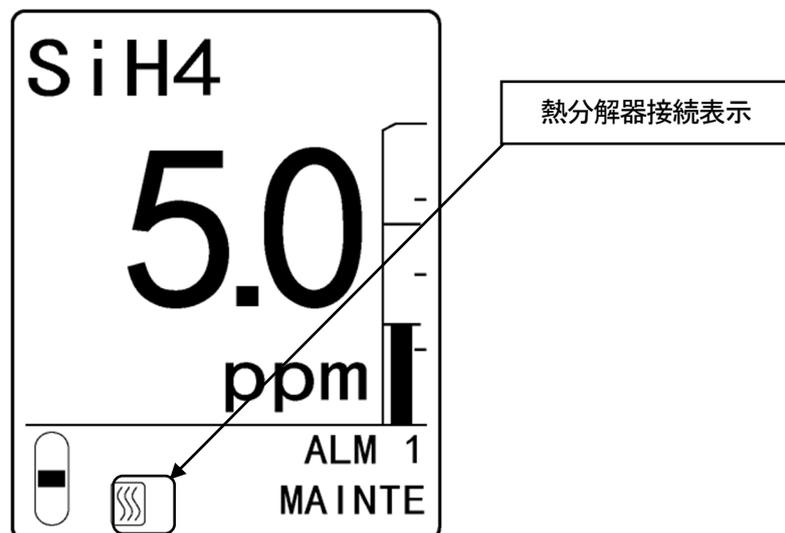
5-2. 始動方法

- ・電源スイッチを ON にする前に、本器が正しく設置されているか確認してください。
- ・確認後電源スイッチを ON にしてください。

電源ランプが点滅します。(1 時間後、点灯に切り替わります)



- ・本器 (PLU-80) の電源スイッチを ON にした後、親機であるガス検知部 (GD-81D シリーズ) の電源を ON にしてください。ガス検知部がイニシャルクリアに入り起動したことを確認してください。



6. 保守点検

本器は親機であるガス検知部(GD-81D シリーズ)と併せて使用する機器です。本器はガス検知部と同様に防災・保安上重要な機器です。本器の性能を維持し、防災・保安上の信頼性を向上するために、ガス検知部と併せて定期的な保守・点検を実施してください。保守・点検の内容についてはガス検知部(GD-81D シリーズ)の取扱説明書を参照願います。

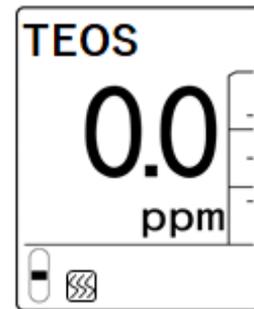
6-1. メンテナンスモード

本器の各データ(パラメーター)は、ガス検知部のメンテナンスモードのメニューより確認することができます。各データはガス検知部のLCDに表示されます。

<熱分解器データ表示「2-11」>

《メンテナンスモード(ガス検知部側にて操作)》

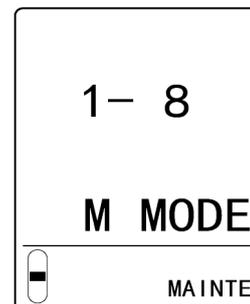
1 検知モードでMODE キーを長押しする(約3 秒間)



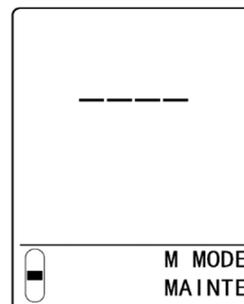
ユーザーモードに切り替わります。



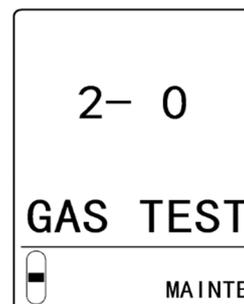
2 ▲キーまたは▼キーを押して[1-8 M MODE]を選択し、TEST/SET キーを押す



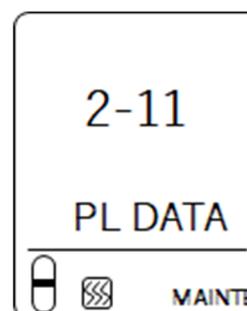
3 TEST/SET キーを長押しする(約 3 秒間)



メンテナンスモードに切り替わります。

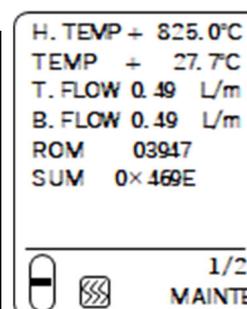


4 メンテナンスモードで、▲キーまたは▼キーを押して
[2-11 GAS TEST]を選択し、TEST/SET キーを押す

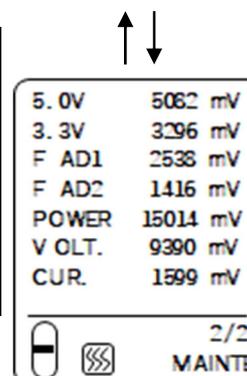


▲キーまたは▼キーを押して画面を切り替えます。

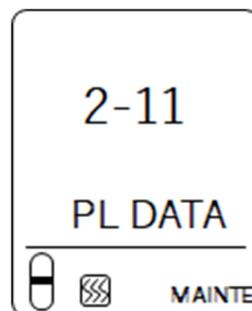
画面	パラメータ項目	説明
1/2	H. TEMP	パイロライザーの設定温度を表示します。
	TEMP	パイロライザーの現在の温度を表示します。
	T. FLOW	パイロライザー内の現在の流量を表示します。
	B. FLOW	パイロライザー内の現在のバイパス流量を表示します。
	ROM	本器のプログラムバージョンを表示します。
	SUM	本器の SUM 値を表示します。



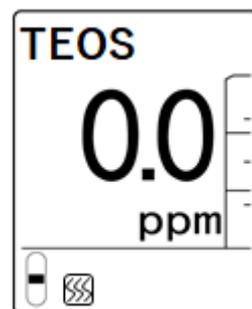
画面	パラメータ項目	説明
2/2	5.0V	本器の内部情報です。 異常時などの診断に使用します。
	3.3V	
	F AD1	
	F AD2	
	POWER	パイロライザーの現在の電力を表示します。
	VOLT.	パイロライザーの現在の電圧を表示します。
	CUR.	パイロライザーの現在の電流を表示します。



5 MODE キーを押す



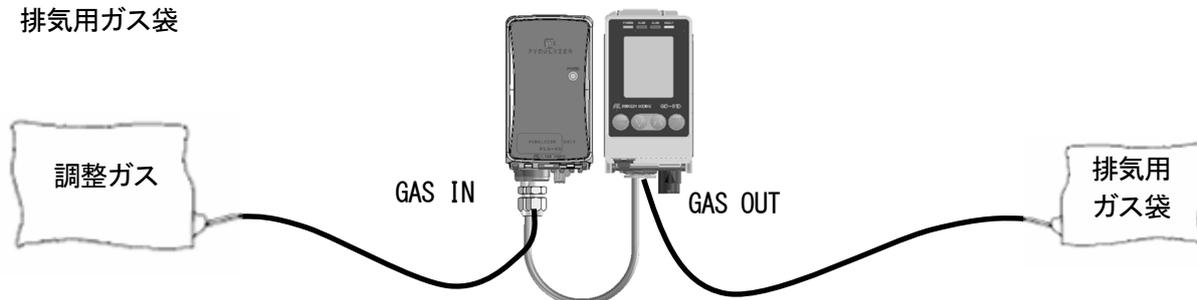
6 MODE キーを長押し(約 3 秒間)して検知モードに切り替える



6-2. ガス校正方法

ガス校正を行う際は、調整用ガスを準備し、ガス検知部のメンテナンスモード(ゼロ調整モード, スパン調整モード)にて行ってください。

- ・ ゼロ調整用ガス(ガス袋に採取)
- ・ スパン調整用ガス(ガス袋に採取)
- ・ 排気用ガス袋



* 注記

ゼロ調整モード, スパン調整モードの具体的な操作についてはガス検知部(GD-81D シリーズ)の取扱説明書を参照します。

6-3. その他調整・清掃方法

<本器の清掃>

本器が著しく汚れていた場合は清掃を行ってください。清掃は電源を OFF にした状態で、ウエスなどで汚れを拭き取ってください。水拭きや有機溶剤を使用しての清掃は故障の原因となりますので止めてください。

配管内部が著しく汚れている場合は、ガス検知に影響を及ぼす可能性があるため、ドライ AIR 等でクリーニングを行ってください。

6-4. 各部品の交換方法

<定期交換部品の交換>

推奨定期交換部品リスト

No.	名称	点検周期	交換周期	数量(個/台)
1	流量センサ	1年	5年	2
2	ファン	0.5年	2~4年	1
3	パイロライザー	—	2~4年	1

* 注記

- ・ 上記の交換周期は目安であり、使用条件によって異なる場合があります。また、保証期間を表すものではありません。交換時期は、定期点検の結果により変動することがあります。
- ・ パイロライザー交換時はエルボも同時に交換します。

流量センサ, ファン, パイロライザーの交換

流量センサ, ファン, パイロライザーの交換に当たっては、部品交換後に専門のサービス員による動作確認が必要です。

機器の安定動作と安全上、動作確認が必要な交換部品については、専門のサービス員にお任せ願います。弊社営業部までご連絡ください。

7. 保管・移設及び廃棄について

7-1. 保管又は長期使用しない場合の処置

本器は下記の環境条件内で保管してください。

- ・ 常温、常湿、直射日光の当たらない暗所
- ・ ガス、溶剤、蒸気などの発生しない場所

7-2. 移設又は再度使用する場合の処置

移設を行う場合、移設場所は「4-2. 取付場所に関する留意事項」「4-4. 取付方法」に従うようにしてください。

また、配線・配管工事についても「4-5. 配線方法」「4-6. 配管方法」を参照してください。移設を行う際は極力無通電時間を短くするようお願いします。

▲ 注意

移設又は停止保管後、再度使用する場合は必ずガス校正を行ってください。ガス校正を含め、再調整は弊社営業部迄ご連絡ください。

7-3. 製品の廃棄

本器を廃棄する際は、産業廃棄物(不燃物)として地域の法令などに従い、適切な処理をしてください。

<EU加盟各国内での廃棄について>

- ・ 電気電子廃棄物 (WEEE) 指令について



本器に貼付されている左記シンボルマークは、本器とその個々の部品を一般ごみまたは家庭ごみとして廃棄してはならず、適切に分別して廃棄する必要があることを示しています。適切な方法で廃棄することにより、人の健康や環境への潜在的な悪影響を防ぐことができます。

製品を廃棄する際に適切に処理、回収、リサイクルするため、お住まいの国で利用可能な返却および回収システムをご利用ください。使用済みの製品の回収やリサイクルの詳細については、製品を購入された販売店またはサプライヤーにお問い合わせください。

8. トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、機器の全ての不具合の原因を示した物ではありません。よく起こりえる不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に示してあります。ここに記載のない症状や、対策を行っても復旧しない場合は、弊社営業部まで連絡願います。

▲ 注意

本項は、熱分解ユニット(PLU-80)使用時におけるトラブルシューティングについて記載しております。親機であるガス検知部全般におけるトラブルシューティングについてはガス検知部(GD-81D シリーズ)の取扱説明書を参照願います。

<熱分解ユニットの異常>

症状	原因	対策
電源が入らない	電源スイッチがOFF	電源スイッチをONにしてください。
	電源システムの異常・瞬断	定格電圧を供給してください。 無停電電源、電源ラインフィルタ、絶縁トランス等の見直し、追加等の措置を講じてください。
	PLU本体ユニットの実装不良	PLU本体ユニットが正しく壁掛ユニットに装着されているか確認してください。
	ケーブルの異常(断線・未接続・短絡)	本器及び周辺に関連機器を含めた配線の確認をしてください。
熱分解器異常 《ガス検知部側にて》 ・LCD表示 E-70 PL COMM・ FAULTランプ点灯	PLU-80の電源が入っていない	電源スイッチをONにしてください。
	ガス検知部との専用通信ケーブルが未接続又は接続不良	専用通信ケーブルが接続されているか、ケーブルのコネクタがしっかり付いているかを確認してください。
熱分解器異常 《ガス検知部側にて》 ・LCD表示 E-70 PL COMM E-71 PL FAULT E-72 PL VOLT E-73 PL CUR E-74 PL FAN E-75 PL TEMP E-76 PL LOW E-78 PL ROM E-79 PL RAM ・FAULTランプ点灯	ヒータの異常過熱やファン停止等、熱分解器内部の異常 (本器電源ランプが速い点滅)	本器のファン上部に何か覆い被さっていないか、ファンに異物が挟まっていないか等を確認してください。また、クローズされた計装盤などで、内部に熱が籠るような場合は、盤自体にファンを設けるなどの放熱を考慮した処置を施してください。 ヒータやファンが故障していた場合、部品を交換する必要がありますので、弊社営業部迄ご連絡願います。
熱分解器異常 《ガス検知部側にて》 ・LCD表示 E-77 PL ADD 表示 ・FAULTランプ点灯	専用通信ケーブルを誤ってPLU-80を要しない仕様のガス検知部に接続した	PLUを要する仕様(NF3など)のガス検知部に接続し直してください。
	PLU-80を要しない仕様のセンサユニットを誤って装着した	ガス検知部に装着されているセンサユニットを、PLUを要するセンサユニット(NF3など)に変更してください。

9. 製品仕様

9-1. 仕様一覧

電源表示	POWER ランプ点灯(緑)
推奨電源ケーブル	ケーブル 1.25mm ² (AWG16)、2 芯
電源	DC24 V±10%
消費電力	最大 25 W
配管接続口	Rc1/4 (PTFE チューブ 0. D. 6 × I. D. 4 mm (1/4 × 1/8 in) / (1/4 × 3/16 in) 用ハーフユニオン<PP>付)
使用温度範囲	0 °C ~ 40 °C (32 ° F ~104 ° F) (急変なきこと)
使用湿度範囲	30 ~ 80 %RH (結露なきこと)
構造	壁掛型
外形寸法 (突起部は除く)	約 70 (W) × 120 (H) × 145 (D) mm (約 2.76 × 4.72 × 5.71 in)
質量	約 0.9kg (約 1.98 lb)
外観色	本体 : グレー、全面扉 : ホワイト

9-2. 付属品一覧

- ・ 取扱説明書
- ・ 保護用ゴムキャップ
- ・ 専用操作レバー
- ・ 専用U字チューブ

改廃履歴

版	修正	発行日
0	初版	2023/7/26
1	全面改訂	2025/7/18
2	CE/UKCA 自己宣言書削除 / 「7-3. 製品の廃棄」の修正	2025/10/31